

[ゲンロク]

2019
AUG
No.402
8
定価 980Yen

GENROK

Challenge of Ferrari フェラーリの挑戦

ハイブリッド・スーパースポーツ、SF90ストラダーレ登場!

[V8スペチアーレの世界] 488ピスタ/458スペチアーレ/288GT0

[288GT0とF40を生んだ男] ニコラ・マテラッツィ

[V8 FRの進化] カリフォルニア×カリフォルニアT×ポルトフィーノ

[短期集中連載]

田中哲也と荒 聖治の
辛口サーキット
インプレッション

[国内初試乗]

マクラーレン
600LTスパイダー

[Eセグメント・サルーンの常識を覆す]

アウディA6
メルセデス・ベンツEクラス
BMW5シリーズ

ロールス・ロイス/BMW/NSX特選ショップ



Built to inspire

Innovative design and high standard defines HYPERFORGED WHEELS.
Nothing is compromised in the making of these highquality wheels and it shows.
Travel in style with HYPERFORGED.
Made in Japan



HYPER FORGED HF-DiC[™]
Disk finish: Brushed side Polish+Anodized Light Bronze
Rim outer finish: Anodized Light Bronze/Gloss
Rim inner finish: Anodized Black/Matte
12 Point Stainless Bolt Classical
F: 9.5Jx21 SemiConcave R: 12.5Jx22 DeepConcave
Ferrari FF Special thanks to: www.ap-dank.com

▶ DiC concave



19" 20" 21" 22" ▶ The RIM:Reverse

▶ LC5 concave



19" 20" 21" 22" ▶ The RIM:Reverse

▶ LC5 Centerlock



19" 20" 21" 22" ▶ The RIM:Reverse

▶ C5.2 concave



20" 21" 22" ▶ The RIM:Reverse

▶ C7 concave



19" 20" 21" 22" 24" ▶ The RIM:Reverse

▶ C10 concave



19" 20" 21" 22" ▶ The RIM:Reverse

▶ 24S



19" 20" ▶ The RIM:Reverse

▶ 27S



20" 21" ▶ The RIM:Step

▶ 25S



19" 20" ▶ The RIM:Reverse

▶ 105R



19" 20" 22" ▶ The RIM:Reverse

▶ 109R



19" 20" ▶ The RIM:Reverse

HYPERFORGED
www.hyperforgedwheels.com
TEL.072-256-6664
FAX.072-256-6444





気鋭国産ブランドをまとう スーパースポーツ、 最新モード

HYPER FORGED HF-DiC for Ferrari 812 Superfast

今やあらゆる車種カテゴリーを支えて引き立てるハイパーフォージドにあって、やはりスーパースポーツ系は似合う。そう再確認させられたのが、オートブラザダークがプロデュースしたフェラーリ812スーパースポーツだった。

オーナー氏は今まで何台ものスーパースポーツを乗り継ぎ、その多くに率先してハイパーフォージドを取り入れてきた。そんな目利きが、今回投入したのはHF-DiC。ブランドとして初のアシンメトリー（左右非対称）デザインを採用した意欲作である。無骨でスポーティな意匠をオーナー氏はトコトン気に入り、前に乗っていたF12にも同様のホイールを組み合わせていた。フロント21インチ、リヤ22インチというのはF12時代と同様で、カラーリングやフィニッシュもまた同じ。だからといってF12に履かせていたものを流用したわけではなく、まったく新規にオーダーしている。

F12と812とは微妙なサイズ設定が異なる。もちろん、流用しても履けないわけではない。転がすだけなら問題ないし、ワイドトレッドスベーターなどを駆使すればツライチへと導くこともできた。

しかし812が持つ比類なき走行性能をスポイルせず、ベストなマッチングへと持っていくために、綿密に812を解析しオンリーワンの仕様をオーダーした。カスタムホイールに対する徹底したこだわりを、影でそっと支えてきたのがオートブラザダークだった。

ハイパーフォージドは製品それ自

体の完成度はもとより、こうした細

かいオーダーメイド体制を敷くところに魅力がある。オーダーメイドといえはアメリカン鍛造系が思い浮かぶが、ハイパーフォージドは純国産メーカーとして、その姿勢を頑なに貫いてきた。オートブラザダークのような国内のカスタマイザーが率先して取り入れてきたのは、己の思い描いたカスタムの理想像にピッタリと

マッチするからである。

先述したようにこの812はフロント21インチ、リヤ22インチ。純正は20インチだから1〜2インチアップとなるが、まったく違和感はなく、むしろ走りを感じさせる流麗なフォルムにはちょうどいい。サイズはフロント275/30、リヤ335/25で、タイヤはこの手のサイズを多く取り揃えるピレリPゼロだった。F

12に比べると、とりわけフロントの太さには驚かされるが、そもそも812は純正でもフロントに275サイズを持つ。

カラーリングはブロンズ系（アナダイズド・ブロンズ）で統一したもののだが、ディスク面は鍛造っぽさが強調されるブラッシュド、リムはグロスとして絶妙に質感を分けている。斜めから見ると、同じブロンズ系といっても、まったく違う色味に見えるから不思議だ。深みのある赤色のボディカラーと、イエローキャリパーとの相性も抜群。随所に備わるカーボンボディパーツもいい塩梅だ。異なる色味を同居させたコーディネートは成功例だと思える。

足まわり以外は純正のままのスタイルングだが、唯一、排気系だけはワークラフトのハイブリッドエキゾーストシステムに交換されていた。ハイパーフォージドと同じ純国産ブランドであり、官能的なサウンドを伴って性能を底上げする機能部品だ。オートブラザダークがハイパーフォージドと同様に率先して取り入れて



赤いボディにカーボンパーツ、イエローキャリパー＆エンブレムという仕様にHF-DiCが調和する。排気系はワークラフトのハイブリッドエキゾーストシステムに変更される。リモコンスイッチひとつで排気経路を変更してサイレントモードとエキサイティングモードとを両立させたもの。スーパースポーツ界では定番となった。



PRICE LIST

HYPER FORGED HF-DiC	
19インチ (7.5J×14.0J)	13万6000円～18万9000円
20インチ (7.5J×15.0J)	14万7000円～20万6000円
21インチ (7.5J×14.0J)	17万7000円～24万8000円
22インチ (8.5J×14.0J)	22万4000円～34万9000円

※価格は税別。

きたアイテムである。フェラーリ最新の12気筒FRで、最高出力800PS、最大トルク718Nmという空を飛びそうな怪力の持ち主である。スタイルングを含めて、純正そのままで漂うオーラは凄い。それでもそこに満足することなく、ほんのひと味スパイスを加える。そんな時、ハイパーフォージドの存在感と、きめ細かいマッチング体制は大きな武器となる。乗り手や作り手側のセンスが問われる面はあるが、うまく履きこなせば唯一無二の存在感を得られる。誰もが振り向くこの812のように――。

ハイパーフォージドのラインナップでアシンメトリー（左右非対称）デザインを持つのがHF-DiCだ。19～22インチの範囲で、世のスーパースポーツ勢を見据えたサイズを展開。今回はフロント21インチ、リヤ22インチ。高級感のあるブロンズ系の色合いをまとう、ディスクはブラッシュドでリムはマットフィニッシュとなる。

